

第9回 計測制御検討会 議事録

1. 日時 平成17年10月31日(月) 13:30~15:50

2. 場所 日本電気協会 4階 D会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員: 國頭主査(東京電力), 今井副主査(関西電力), 石合(電源開発), 新屋(北陸電力), 内海(三菱重工業), 江島(九州電力), 小山(日立製作所), 清治(日立), 永野(富士電機), 長橋(日本原電), 三村(中国電力), 山岸(北海道電力), 渡辺(三菱重工業), 渡辺(東芝), 渡辺(四国電力) (15名)

代理委員: 北村(三菱電機・谷代理), 小山(中部電力・坂本代理) (2名)

欠席委員: 田中(東京電力), 鴫田(東北電力), 鈴木(東芝) (3名)

常時参加者: 山内(東京電力), 加藤(東芝), 小嶋(日本原電)

オブザーバ: 牧野, 松野, 滝田(JNES), 田中(原技協)

事務局: 中島

4. 配布資料

資料 No.9-1 第8回 計測制御検討会 議事録(案)

資料 No.9-2 今後の計測制御検討会 検討スケジュール(案)

資料 No.9-3 海外規格・基準の調査について(調査対象の概要)

資料 No.9-3(1) 海外規格・基準の調査結果について(R.G 1.168/IEEE-1012/IEEE-1028)
資料 No.9-3(2) 海外規格・基準の調査結果について(R.G 1.169/IEEE-828/IEEE-1042)
資料 No.9-3(3) 海外規格・基準の調査結果について(R.G 1.173/IEEE-1074)

資料 No.9-4-1 安全審査等調査結果概要、および反映要否検討結果に関する一覧表 PWR(検討項目ごと)

資料 No.9-4-2 安全審査等調査結果概要、および反映要否検討結果に関する一覧表 BWR(検討項目ごと)

参考1 安全設計分科会 計測制御検討会 委員名簿(案)

参考2 デジタル計算機の安全保護系への適用に当たっての要求事項について(案)

参考3 制御室における誤操作防止のための要求事項について(案)

5. 議事

(1) 前回議事録確認および委員名簿確認

事務局より,資料No.9-1に基づき,第8回 計測制御検討会 議事録(案)(事前に配布しコメントを反映済み)の説明があり,特にコメントなく原案どおり了承された。続いて,事務局より計測制御検討会 委員名簿(案)について,三菱重工(株)内海委員の所属が変更となったこと及び東京電力(株)山内常時参加者と(株)東芝宇田川常時参加者が退任される旨報告が

あった。また、東京電力(株)中川様と(株)東芝加藤様が常時参加者として参加希望されている旨報告し、承認された。更にJNES牧野様、滝田様、森田様、原技協田中様については、新委員候補として名簿へ反映し、次回の安全設計分科会へ諮ることとした。

(2) 計測制御検討会 検討スケジュール(案)について

國頭主査より、資料No.9-2に基づき、今後の計測制御検討会 検討スケジュール(案)について説明があった。

(3) 海外規格・規準等の調査について

1) 海外規格・基準の調査について

内海委員より、資料No.9-3海外規格・基準の調査(調査対象の概要)について、当面はJ E A G 4 6 0 9に的を絞って要求事項を整理することとし、また要求事項の整理にあたっては、規格・基準が規制要求及び例示・推奨事項のいずれであるかを選別するための考え方(根拠)を明確化することとした旨説明があった。また、海外規格・基準の調査結果について、資料No.9-3(1)に基づき北村代理委員並びに資料No.9-3(2)に基づき加藤常時参加者、資料No.9-3(3)に基づき清治委員より説明があった。

これに関する意見は概略以下のとおりであった。

Q.規格の改定検討の優先順位を考慮して、J E A G 4 6 0 9への関連性を表す識別をされているが、IEEE Std.7-4.3.2は、安全系のデジタル計算機の全般を網羅している規格であり、優先度としては高いので、一重丸よりも二重丸とすべきではないか。

A. J E A G 4 6 0 9への関連性を表す識別は、規格基準が要求事項、推奨事項、例示・解説のいずれで表現されているかを示すもので、今後の詳細検討において規制体系全体の中での要求事項としての優先度を考慮すれば、当然 IEEE Std.7-4.3.2(安全系のデジタル計算機に関する規準)は、重要度として高くなると考えている。

Q.ソフトウェアのV & Vに関する規準の内容整理の中で、IEEE Std.7-4.3.2の最新版が1993年版となっているが、正しいのか再確認してほしい。

A. 拝承。

2) 安全審査等調査結果概要と反映要否検討結果について

國頭主査より、資料No.8-4-2に基づき、また今井副主査より、資料No.8-4-1に基づき、安全審査等の調査結果から規格への反映要否を検討した結果について、BWR分及びPWR分について説明があった。

6. その他

(1) 國頭主査より、10/14(金)に開催された第2回安全評価WGでの本規格の審議状況について議事の紹介がなされた。また、規制当局で実施している学協会規格の技術評価作業の資料として、参考2「デジタル計算機の安全保護系への適用に当たっての要求事項について(案)」及び参考3「制御室における誤操作防止のための要求事項について(案)」の紹介がなされた。

(2) 次回検討会の開催は、別途調整することとした。

以上